

縫部憲治

追悼



写真 / 小野塚 誠

舞踏青龍會

アトリエ公演 / 肉体の四季
第五朶 空の景
—— 縫部憲治追悼 ——

第一部

よしお
亀井ひろこ
山本清子(兵庫)

第二部

金丸謙一郎
田山明子(東京)
峰尾かおり、シンキミコ、松岡智恵

第三部

縫部憲治「エミール」
(2013.10.13アトリエ公演より / 映像撮影: 黒岩俊哉)
「縫部憲治を語る」森元齋、原田伸雄
献杯・小宴

2014年
10月12日(日)

15時開演(14時半開場)
会費 2000円

舞踏青龍會 アトリエ
福岡県小郡市二森1632-11(駐車場有)

予約/問合せ 090-5083-9055 (原田)
n_1949.1.1@docomo.ne.jp



アクセス/西鉄大牟田線端間駅より徒歩8分
二森交差点近く

舞踏青龍會

アトリエ公演 肉体の四季
第五 空の景

縫部憲治追悼

2014年
10月12日(日)

15時開演(14時半開場)

舞踏青龍會 アトリエ
(福岡県小郡市二森1632-11)

会費 2000円

予約/問合せ 090-5083-9055 (原田)
n_1949.1.1@docomo.ne.jp



写真 / 小野塚 誠

第一部

よしお
「夜の轍」

亀井ひろこ
「踊る農婦」

山本清子(兵庫)
「地獄は一定すみかぞかし」

第二部

金丸謙一郎
「縫助さんち」

田山明子(東京)
「SadSong...悲歌」

峰尾かおり、シンキミコ、松岡智恵
「ほころぶ」

第三部

縫部憲治

「エミール」(13.10.13アトリエ公演より)
映像撮影: 黒岩俊哉

森元齋、原田伸雄
「縫部憲治を語る」

献杯・小宴

縫部憲治 Kenji Nuibe

1980年原田伸雄と出会う。舞踏青龍會第1期メンバー。1983年「イントロン」で始動。2013年9月「ランゲルハンス島」、同年10月「エミール」(舞踏青龍會「肉体の四季」)、2004年「よるのそくど」以来、深谷正子主宰「ダンスの犬ALI IS FULL」の舞台に連続出演。最後の舞台は2014年5月「自然は実に浅く埋葬する」(深谷正子作演出)。2014年8月5日午後12時42分、胆管癌の為に逝去。享年56歳。

山本清子 Kiyoko Yamamoto

高砂BUTOH協同組合代表。1990年「桂勘」にであう。2001年「高砂BUTOH協同組合」設立。エジンバラフリンジフェスティバルに制作・出演。以後自主公演を重ねながら桂勘の海外公演や各地のイベントに参加。舞踏のたちあがってくる場所を探索するなかで、A. ミンデルの「プロセス指向心理学」を舞踏手法に生かすことを研鑽している。インドダラムサラの「ヒマラヤ共振塾」にてヒマラヤ第一回舞踏フェスにも参加。福島原発事故後は民衆の抵抗の踊り「かんしよ踊り」を踊り続けている。「踊りたいムズ」を発行。

シンキミコ Kimiko Shin

アノヒトのようにおどりたい
アナタのようにおどりたい

峰尾かおり Kaori Mineo

もともと演劇活動をしていたが、1999年舞踏と出会い、青龍會にて舞踏を学ぶ。役者と、おどりと両方で活動中。

原田伸雄 Nobuo Harada

大野一雄、笠井勲の即興舞踏の系譜を継ぐ。大使館から独立後、1980年に東京で舞踏青龍會を結成。現在、福岡を拠点に女装せる老残の益荒男舞踏家として芸術と反芸術の境界線上を滑稽かつシリアスに往還中。

田山明子 Meiko Tayama

(舞踏ダンス)
70年代美学校・大使館にて笠井勲氏に舞踏を学び、カンレキを過ぎた現在も「未来ノ舞踏(ダンス)」を模索するオルタナティブな活動を展開中!

よしお Yoshio

1989年生女 揺れる レースのカーテン
瞬く星夜の木々 夢から覚める手前 遺品
五月の薔薇園 霧の朝 水
金木犀のにおい
祖父母の家の飼犬メリーさん
私のすきなもの。

松岡智恵 Chie Matsuoka

零

亀井ひろ子 Hiroko Kamei

農婦。時々 踊る人。

金丸謙一郎 Kenichiro Kanamaru

1977年長崎生。幼少期より詩人谷川雁の発案による集団創造「テーマ活動」に親しむ。いまをいきる神話と物語、物語と身体との関係を問いつづける。ラボ・パーティOB、ものがたり文化の会賛助会員。

